

創立 40 周年来賓あいさつ 財団法人 日本自然保護協会 事務局長 志村 智子

愛知県環境局環境政策部 自然環境課長 杉本 安信

日本自然保護協会 事務局長 志村 智子

愛知県自然観察指導員連絡協議会の皆様、40 周年おめでとうございます。協議会は、指導員講習会が始まった 1978 年の 3 年後の 1981 年 4 月に設立され、今日まで自然観察指導員の活動を拡げ、自然保護教育を推進してこられました。『協議会ニュース』は 170 号を越え、毎回充実した内容で作成・配付され、支部を設けて地域ごとの連携を進め、研修会を定期的に開催し県内外の指導員に研鑽の場を作ってこられたことは、多くの方の一方ならぬご尽力あってのことと思います。こうした活動を展開してこられた貴会の存在があったからこそ、NACS-J は新指導員の養成をすすめてこられました。心より感謝申し上げます。

この 40 年には色々なことがあったと思います。指導員講習会は、当初は全国的に都道府県との共催でしたが、やがてその形態が変わってきたとき、愛知県では協議会として共催いただけるとおっしゃって頂きとても心強かったことを覚えております。おかげで愛知県では現在も継続して指導員養成ができています。

指導員担当をしていたときに講習会を開催した犬山では、皆さんと木々の梢やつややかなどんぐりを観察しました。こうした観察会での自然の見方は変わらないものですが、社会の変化、わたしたちの暮らしの変化によって自然保護の新たな課題は常に生まれてきます。藤前干潟の埋め立て、愛知万博や生物多様性条約 COP10、リニア中央新幹線計画のように愛知県内で日本や世界が注目する多くのできごとがありました。こうした課題に向き合うには、自然保護教育も様々な形や場面で必要になってきます。ぜひこれからも会として活動いただき、県内外指導員の皆さんの活動を支援頂けると幸いです。いつでも・どこでも・だれとでも自然観察会がされ、多様な人が参加で

きる社会の実現に向けて、今後も一緒に歩ませていただくことを願うとともに、貴会の今後のさらなる発展を心より応援しております。

愛知県環境局 自然環境課長 杉本 安信

2010 年、愛知・名古屋で生物多様性条約第 10 回締約国会議が開催され、生物多様性に関する世界目標「愛知目標」が採択されて以降、本県はその達成に貢献するため、「人と自然が共生するあいち」の実現に向けて、大学や NPO、企業、市町村など地域の様々な主体と連携して、生物多様性の保全に向けた取組を推進してまいりました。

現在は、「あいち生物多様性戦略 2030」（2021 年 2 月策定）に基づき、様々な主体が協働して生きものの生息・生育環境をつなぐ「生態系ネットワーク」の形成と、県民や企業等すべての主体が生物多様性に配慮して行動する「生物多様性の主流化」の加速を 2 本柱として各種の取組を進めているところです。

そうした中、実際のフィールドで観察や保全を指導する自然観察指導員の御活躍・御協力は極めて重要です。観察は、人が自然に親しみ、自然を守り、自然と共に生きるための基本となるものだからです。

愛知県自然観察指導員連絡協議会が長きにわたり自然観察指導員の育成に取り組み、数多くの指導員を輩出してこられたことは、本県の自然環境の保全において大変意義あることと、心から敬意を表します。今後も末永く指導員の育成に取り組み、「人と自然が共生するあいち」の実現に貢献していただけることを大いに期待しております。

愛知県自然観察指導員連絡協議会の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。